

ビジネスアイディアの概要

日本では、食品廃棄物の発生と、食品・タンパク質資源の価格上昇および海外依存に加え、肥料・バイオマテリアルの海外依存という課題があります。
この課題を解決するために、ゾフォバスモリオ（スーパーワーム）を用いて食品廃棄物を高付加価値資源に変換する技術の事業化を目指します。
ターゲットは、飼料およびプロテイン原料（サプリメント用途）、バイオマス廃棄物処理、バイオ材料分野です。

ビジネスアイディアを事業化するための課題

- ・ 処理プロセスの安定性・再現性の確立
- ・ 初期顧客探索（飼料/サプリメント・廃棄物・材料）
- ・ 統合プロトタイプ（飼育＋抽出）の構築
- ・ 規制対応および知財戦略の整理

事業化の見通し

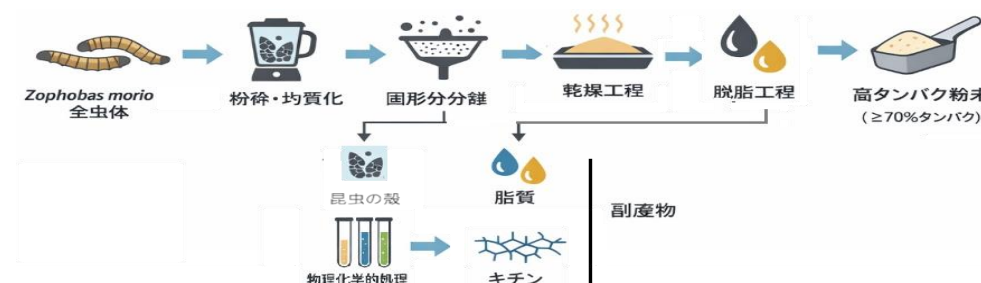
- ・ 多様な食品廃棄物の資源変換を確認→タンパク質（約70%）
- ・ キチンの試作・特性評価済
- ・ 市場→飼料 / 廃棄物処理 / バイオ材料

現在：プロトタイプ開発中

→ 次段階：

- ・ 脂質・フラスの評価（肥料利用）
- ・ 抽出ポリマーの特性評価
- ・ 再現性向上 / コスト検証 / 顧客獲得

循環型昆虫バイオリファイナリーの事業化へ



事業者情報

Guillermo Guangorena

鶴岡工業高等専門学校



ビジネスアイディア概要図等

